OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.122 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2003, 122
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21364
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

〈編集後記〉

「低温センターだより」の編集委員会は、年4回の発行に合わせて、3、6、9、12月に、吹田と豊中とで交替で開かれます。そこではまず、集まった次号のための原稿を回し読みし、表紙に使う図や、記事の配列などを決めていきます。新しい原稿を発行前に読めるのはうれしいのですが、じっくり読むことはできません。この作業は比較的早く終わり、続いて次々号の原稿の検討に入ります。「低温センターだより」では一般投稿も歓迎しているのですが、原稿が持ちこまれることは、残念ながら今のところはあまり多くありません。ほとんどは、各編集委員からの「○○さんがやっている×××で、おもしろい結果が出ているので、原稿を頼もうと思う(あるいは、既に頼んだ)のですが」という提案によって、記事のタイトルが揃っていきます。ときには、「あの研究室にはしばらく書いてもらっていないから、頼めば何か書いてもらえるでしょう」というような、大雑把な話もあります。タイトルに興味を持った他の委員から「へー、それはどういうことなんですか」と質問が出て、その話題をめぐってひとしきり話に花が咲く、ということはよくあり、その中には記事にはならないものもたくさんありますから、我々委員はさまざまな情報を仕入れることができます。12月の編集委員会の後は、続いて忘年会が必ず開かれますが、これが編集委員をやっていて一番の楽しみです。楽しみにしているのは、酒ではなく(それもありますが)、編集作業を離れた多士済済の編集委員の間の、いつもより以上に活発な会話です。以前は喧嘩寸前の大激論になることもよくありましたが、最近は私も含めて編集委員が小粒になったのか、だいぶおとなしくなってしまったのが残念です。

私事ですが、4月に転勤によって、阪大ならびに低温センターだより編集委員会を離れました。気がついたら、18年以上も編集委員を務め、最古参となっていました。この機会に、「低温センターだより」の舞台裏を、回想しながらご紹介してみました。

(栗田　厚(現：関西学院大理工))

大阪大学低温センターだより　第122号

平成15年4月　発行

編集責任者　北　岡　良　雄

発　行　者　大阪大学低温センター

吹田分室　大阪府吹田市山田丘2番1号

電話(06)6879－7985

豊中分室　大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話(06)6850－6691

印　刷　所　阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話(06)6443－0936(代表)

目　　次

No. 122

巻頭言

有機合成と低温…… 植田　育男 …… 1

研究ノート

極短および極長の有効光路長を持つ半導体における遠赤外共鳴ファラデー効果
……理学研究科　鈴木　正人
藤井　研一
大山　忠司 …… 2

シアン処理によるSi/SiO2界面の界面準位の低減
……産業科学研究所　髙橋　昌男 …… 8

液液界面反応のその場測定法 ……理学研究科　渡會　　仁 …… 15

Electric Properties of Cryogenic Rare Gas Liquids and Their Applications in Radiation Detectors
……Graduate School of Engineering　Werner F. Schmidt
Katsumi Yoshino …… 20

お知らせ

投稿のご案内…… 34

平成14年度寒剤供給状況 …… 35

表紙説明：シアン処理による界面準位消滅を理論的に計算するために用いたクラスターモデル。左側が、SiO_2/Si界面のシリコン原子にダングリングボンドが存在するモデル，右側が、界面のシリコンダングリングボンドにSi－CN結合が生成したモデル。（本文p.11参照）